

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	バグダッド県、バビル県、サラハディーン県、キルクーク県の11校に通う生徒9,967人、教員318人の合計10,285人が、修復された水衛生設備や学校施設のもと、安全で衛生的な環境で学習および指導できるようになった。
(2) 事業内容	<p>本事業では、イラクのバグダッド県(2校)、バビル県(当初計画より1校追加を含めて3校)、サラハディーン県(3校)、キルクーク県(3校)において、以下の活動を実施した。</p> <p>(ア) 全校生徒の10%を超える国内避難民を受け入れており、かつ緊急に修復を要する学校11校の修復</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗面台・水飲み場・排水口を修繕、もしくは新規設置し、水衛生設備を衛生的なものに整備した。 ・換気窓・電灯・ドア・窓を修繕、もしくは新規設置し、生徒が最低限安全で衛生的な学校環境において学習できるよう整備した。 ・修復された設備を清潔かつ衛生的に維持できるよう、洗剤・ブラシ・バケツ・ゴミ箱・ホースからなる清掃道具の提供を各校に行った。 <p>(イ) 上述の11校とその周辺地域における生徒たちの健康維持と促進のための衛生教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11校で計117人の教員を対象にToT(Training for trainer)を2日間にわたり実施した。初日は当団体の職員によるデモンストレーションを通じて衛生の重要性・病気の予防を啓発し、特にイラクで現在も発生するコレラ、肝炎、水疱瘡に関する講義を重点的に行った。2日目は前日の復習と質疑応答を中心に行い、教員は生徒への衛生授業を実演した。 ・教員の研修に加え、研修教材を教育省と協働で作成し、小学校・中学校それぞれで配布を行った。小学生用は歯磨きや手洗いといった個人の衛生に重点を置き、中学生では健康管理・病気の予防といった項目を取り入れた。 ・衛生啓発用のポスターを2種類、各種143枚ずつ作成し、各校に配布した。1枚は歯磨きや手洗い等の個人衛生を、もう1枚は身の回りの衛生管理を題材とした。これらは校内の廊下とトイレに掲載した。 ・衛生教育の浸透度合いを測るため、教員の研修理解度に関するテストと生徒の衛生行動の実践を測定するKAP調査を行った。
(3) 達成された成果	<p>本事業では、上記の活動により以下を達成した。</p> <p>(ア) 4県で計11校の修復を行い、全校とも、修復工事の完了後に各県教育局へ引き渡しを行った。</p> <p>(イ) 修復前の生徒数は計9,044人であり、その内の国内避難民は全体の32.6%にあたる2,952人であった。修復後には生徒数が9,967人となり、修復前と比べて10.2%増加した。当初は全体で12%の増加を見込んでいたが、すでに定員オーバーの学校がいくつかあったこと等により、増加率は想定を下回った。</p> <p>(ウ) 衛生教育を行った11校において、研修を受講した教員117人の内73%にあたる85人が80点以上のスコアを得た。</p> <p>(エ) 事後KAP調査により、生徒の75%が衛生教育で得た知識を実践していることが確認された。</p>

(4) 持続発展性

- ・修復した全11校は各県の教育局に引き渡しを行い、教育省の管理上も修復された学校に分類された。学校の運営と設備の維持に関しては、教育局が各校長の協力のもと共同で行う。
- ・衛生教育は当団体の職員が生徒に直接行わず現地に残る教員を対象とすることで、本事業の終了後も新しい生徒へ知識が普及する仕組みを作った。
- ・本事業で作成した衛生教育の教材は、各校でいつでも閲覧・教材として使用ができるよう資料として保管した。
- ・清掃用具の配布は、配布対象者の清掃活動意欲喚起につながり、学校の衛生環境の改善と持続的な整備・維持に寄与する。